

令和5年度

第4回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和5年5月12日（金）  
開会13時35分 閉会13時58分

場 所 教育委員室

令和5年度  
第4回大分県教育委員会

**【議 事】**

(1) 報 告

- ① 令和5年3月卒 高等学校新規卒業者の就職状況について
- ② 令和5年度第1回グローバルリーダー育成塾（第8期生）について
- ③ 令和6年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験実施要項について

## 【内 容】

### 1 出席者

教育長	岡 本 天津男
委 員 委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
委 員	岩 崎 哲 朗
委 員	高 橋 幹 雄
委 員	高 鈴 木 恵 代
委 員	岩 武 茂 代
<b>事務局</b> 理事兼教育次長	渡 辺 登
教育次長	三 浦 一 雄
教育次長	武 野 太
教育改革・企画課長	重 親 龍 志
教育人事課長	大 和 孝 司
高校教育課 参事 (総括)	戸 上 健 治
教育改革・企画課 総務企画監	小 野 裕 二
教育改革・企画課 主幹 (総括)	新 貝 隆
教育改革・企画課 主査	長 山 佳 史
教育改革・企画課 主任	久 知 良 周 平

### 2 傍聴人

3 名

## 開会・点呼

(岡本教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

それでは、ただ今から、令和5年度第4回教育委員会会議を開催します。

## 署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、岩崎委員にお願いします。

## 会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は14時00分を予定していますので、よろしくお願いします。

## 議 事

### 【報 告】

#### ① 令和5年3月卒 高等学校新規卒業者の就職状況について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第1号「令和5年3月卒 高等学校新規卒業者の就職状況について」高校教育課参事から説明をしてください。

(戸上参事(総括)〔高校教育課〕)

令和5年3月高等学校新規卒業者の就職状況についてご報告します。資料をご覧ください。「1 紹介就職【内定者数、内定率、未内定者数】推移(年別)」は、紹介就職のみを対象とした大分労働局のデータを元に基に、紹介就職の内定者数、内定率、未内定者数の年次毎の推移を示したものです。高校卒業生数の減少に伴い、就職希望者数、就職者数とも減少傾向にありますが、令和5年3月末の就職内定率は99.8%であり、令和4年3月末より0.4ポイント増加しています。

これは、令和5年3月末の求人倍率が2.42倍であったことから分かります。企業サイドの採用意欲の高まりと、生徒の進路希望の実現に向けたきめ細やかな指導等、学校での熱心な就業支援との相乗効果の成果であると考えられます。

令和5年3月末の就職未内定者数が3名いますが、未内定者については、卒業後も各学校の卒業生相談窓口等が中心となり、生徒の希望進路達成に向け、ハローワークや関係機関と連携し、引き続き就職支援を行っています。

資料の「2 県内就職状況（R5.3月末）」をご覧ください。

大分県は人口減少が喫緊の課題であり、地方創生を担う人材の育成が最重要課題の一つとして位置づけられています。就職内定者のうち県内で内定した者の割合は75.7%で、昨年度同期と比べ0.9ポイント減少していますが、九州の中では福岡県に次いで2番目であり、依然、高水準を維持しています。これは、コロナ禍の影響による県内志向に加え、商工観光労働部との連携による県内企業説明会のオンライン化等の取組や、工業科に配置したキャリアプロデューサーの成果によるものだと考えられます。

教育委員会の取組としては、資料の「令和4年度教育委員会の取組」に記した①から④を実施し、生徒の就職支援を引き続き行っています。このうち①と②は、高校教育課と大分労働局、商工観光労働部との連携で取り組んでいるものです。また、就職状況を把握するため、令和5年度9月から学校訪問を実施する予定です。

今後も学校訪問等を継続的に行い、各学校が生徒一人ひとりの進路希望の実現に向けて、きめ細やかな進路指導を行えるように支援していきます。

報告は以上です。

(岡本教育長)

就職内定率が大変高いのは良いことです。未内定者数が非常に少ないことの要因は何だと思いますか。

(小林課長補佐（総括）〔高校教育課〕)

各学校で、丁寧な指導が行われている成果であると考えます。

(岡本教育長)

一人ひとりに細やかにケアしている状況ですか。

(戸上参事（総括）〔高校教育課〕)

はい。未内定者の内訳は、県立高校の生徒が0名、私立高校の生徒が3名です。

(岡本教育長)

例年、未内定者は何名程度いるのですか。

(小林課長補佐(総括) [高校教育課])

例年は、10名程度の未内定者がいます。

(高橋委員)

内定率が高いのは良いことですが、熊本県に半導体の工場ができることに伴い、熊本県内の企業が優秀な人材を青田買いしているなどの話を聞いています。本県にもIT関係の企業がありますので、可能な限り県内の企業に就職して欲しいと思います。

(岡本教育長)

人材育成のために、高校の電子科を1クラス増やしました。

(鈴木委員)

多くの企業が高校を訪問し、企業説明を行っていると聞いています。また、生徒は、就職した先輩達から、給料面がかなり優遇されてきており、楽しく生活できているという話を聞いているそうです。生徒達は自分の就職に夢を思い描いていますので、学習にも積極的に取り組んでいると思います。進学希望の生徒も就職に魅力を感じている状況ですので、企業側が必死に取り組んだ成果でもあるのではないかと思います。特に資格を持っている生徒にとっては、企業を選べるような状況にもあるように思います。

(岩崎委員)

学校の細かい指導があって、素晴らしいと思います。今後の課題であると思いますが、今の若い方は就職しても、企業と合わずに離職するケースが増えていると聞いています。離職率を調べ、離職した事情等も迫っていただきたいと思います。

(戸上参事(総括) [高校教育課])

高卒者の離職率に関しては、下がっている状況です。以前は離職率が4割以上でしたが、近年は4割を切る状況です。県内の高卒者の離職率も、同様に下がってきています。

(岩崎委員)

離職した若い方のフォローもしていただきたいと思います。

(岡本教育長)

高卒者の離職率のデータは、どれくらいの期間を調査したのですか。

(戸上参事(総括) [高校教育課])

卒業後、3年以内の離職率を調査したものです。平成30年3月に卒業した高校生の、3年以内の離職率は38.8%となっており、離職率が下がっている傾向にあります。

(岩武委員)

進学希望者は増えている傾向にありますか。

(戸上参事(総括) [高校教育課])

進学希望者は増加しています。専門高校から国公立大学に進学する生徒が年々増えている状況です。また、私立大学を含めて、専門学校や上級学校に進学している生徒も増えている状況です。

## **② 令和5年度第1回グローバルリーダー育成塾(第8期生)について**

(2課 [教育改革・企画課、高校教育課] 入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第2号「令和5年度第1回グローバルリーダー育成塾(第8期生)について」高校教育課参事から説明をしてください。

(高校教育課 戸上参事)

令和5年5月27日の土曜日に、県教育センターにて、県内高校生を対象にしたグローバルリーダー育成塾を開講します。平成28年度の開始から8年目を迎える令和5年度は、県内25校から680名が参集する予定です。

コロナ禍の3年間は、全ての生徒を会場に集めることが困難な状況でしたが、「他校の生徒と対面で交流する体験は、生徒の成長につながる」という教員からの声もあり、生徒が学校の枠を越えて意見を交わすことができる環境を提供するため、全員が参集する形態にします。

あわせて、スタンフォード大学との連携によるスタンフォード大学遠隔講座第4期生及び、立命館アジア太平洋大学との連携によるオンライン・グローバル・キャンパス第3期生の閉講式を行います。

閉講式では、スタンフォード大学遠隔講座の成績優秀者に選出された、宇佐高校の、受講当時1年生の東 紗衣(ヒガシ サエ)さんと、玖珠美山高校の、受講当時2年生の原 菜々子(ハラ ナナコ)さんの2名が、社会問題の解決策につい

て、英語によるプレゼンテーションを行います。また、オンライン・グローバル・キャンパスの成績優秀者代表に選出された、大分上野丘高校の、受講当時1年生の松木 結愛（マツキ ユウナ）さんが、講義や留学生を交えたディスカッションでの学びについて、成果を発表します。

今後も、このような取組を通じて世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働して未来を切り拓いていくことができる、グローバル人材の育成に努めていきます。

報告は以上です。

（岡本教育長）

ご質問・ご意見はありませんか。

（林委員）

基調講演を行う講師の原口瑛子さんは、大分県に関係がある方ですか。また、どのような活躍をされている方ですか。

（戸上参事（総括）〔高校教育課〕）

熊本出身の方で、早稲田大学卒業後、国際協力機構（JICA）で働いていました。アミュプラザ大分にも出店している、ビジネスレザーフクトリーの代表取締役社長に就任後、バングラデシュの貧困問題解決に取り組み、現地で700名以上の職人を雇用しました。日本国内では、150名の従業員と16店舗を展開した経歴があります。

（岩武委員）

最初は100名程度から始まったグローバルリーダー育成塾も、現在は第8期で、受講者は680名まで増えています。令和5年度のねらいや趣旨、今後の展開について、どのように考えていますか。

（佐野課長補佐（総括）〔高校教育課〕）

コロナ禍になる前の受講者は300名程度でした。コロナ禍でオンライン開催になり、受講者は700名規模に増えました。海外の方と直接の交流ができず、どこにも行けないため、オンラインでの取組に興味をもった生徒が増えたのではないかと思います。

今回、オンライン開催から集合開催に戻したので、参加希望の生徒が減るのではないかと思います。そこまで減ることはなく、600名を越えています。

受講者の募集方法には賛否両論があり、「リーダー」の育成なので、生徒を選別することも考えた方が良くはないかという意見と、可能な限り多くの生徒に受講の機会を与えた方が良くはないかという意見があります。地域の学校の生徒は、他校の生徒と交流する中で、自分の意見を話すことや、様々な生徒の

意見を聞く体験ができることを希望していて、グローバルリーダー育成塾は、それが体験できる一番良い機会だという意見も多く聞かれます。

県教育委員会としては、グローバルリーダー育成塾の取組がモデルとなって、各地域や各学校でグローバル教育を展開して行ってほしいと思っています。そこに至るまで、700名規模の大人数でも、まずは実施してみるべきだと思っています。いつ、どの生徒がリーダーとなって、どこでどのような形で貢献していくのかを、高校生の段階で判断するよりも、多くの生徒にチャンスを与える方が、今後のために良いのではないかと考えています。

(岩武委員)

結構な人数になっていますが、まずは、とにかくやってみて、その結果から今後を考えていくということですね。

(高橋委員)

第8期以前の生徒の中には、すでに社会人になっている方もいると思いますが、どのような成果が出ていますか。何か実績はありますか。

(佐野課長補佐(総括) [高校教育課])

例えば、本県が主催している留学フェアで、現地の大学生の勉強や生活の様子について教えてくれる、海外留学をしている大学生がいます。この方は、大分舞鶴高校の卒業生であり、グローバルリーダー育成塾の2期生です。

社会人になり、企業で働いている方もいるとは思いますが、個人情報保護条例の関係から、情報収集が難しい状況にあります。学校の同窓会等を通じて、情報収集できないかと検討しているところです。

(高橋委員)

育成塾の卒業生に成果をフィードバックしてもらい、ぜひグローバル教育を本県の教育の特徴の一つにしてほしいと思っています。

(岩武委員)

これからの大分県を考えると、地域にしっかりと根差して、大分県をしっかりと支えていくような人材が必要です。一方で、グローバルに活躍して、将来的にリーダーとなって大分県を引っ張っていくような人材も必要だと思います。

グローバルリーダー育成塾が、大分県に対する郷土愛を育み、また、世界に進出して日本全体を捉える視点や、将来大分県を引っ張っていくようなリーダーを育む、一つの土壌になってほしいと思います。今後、模索していく中で、そのような視点も持ちながら、検討していただきたいと思います。

(鈴木委員)

地域の学校で学んでいる高校生が、大分市内の高校生と一緒に課題に向き合う

ような機会を持つことは、特に大事だと思っています。他校の生徒と関わる機会が少ないので、そのような機会を積極的に設けてほしいと思います。経験することは非常に大事なので、多くの生徒に機会を与えてほしいと思います。

### **③ 令和6年度教員、民間人校長及び教育庁等職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験実施要項について**

（2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室）

（岡本教育長）

それでは、報告第3号「令和6年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験実施要項について」教育人事課長から説明をしてください。

（大和教育人事課長）

「令和6年度大分県公立学校教員採用選考試験 実施要項」をご覧ください。令和5年5月2日に大分県教育委員会のホームページで公表するとともに、報道発表と実施要項の配布を行っています。今後は「令和6年度大分県公立学校教員採用選考試験 募集案内」と併せて、県内外の大学に配布し、試験内容の周知を図るとともに、受験者数の確保につなげたいと考えています。

また、実施要項についての説明や、大分県で教員として働く魅力を伝えるため、SNSを活用した広報として、ツイッター及びインスタグラムによる情報発信を行うとともに、オンライン形式による説明会を10回実施します。

さらに、若者の県内就職の促進を担当する雇用労働政策課と、県内への移住促進を担当する、おおいた創生推進課に対して、両課が発信するメールマガジンや各種SNSへの掲載を依頼します。その他、「他県教諭特別選考のご案内のチラシ」のホームページへの掲載、他の自治体や県内の福祉施設団体、障がい者スポーツ協会等への実施要項の配布、県立学校同窓会への広報の依頼等を行い、PRに努めていきたいと考えています。

次に、「民間企業等での管理職経験者を対象とした令和6年度大分県公立学校校長採用候補者選考試験 実施要項」をご覧ください。

教員採用選考試験と同様、令和5年5月2日に大分県教育委員会のホームページで公表するとともに、報道発表と実施要項の配布を行っています。また、「民間人校長募集のチラシ」についてもホームページに掲載しています。県内経済団体及び県外の大分県人会への周知依頼や、全国都道府県教育委員会等への要項送付、全国版の新聞への広告掲載等を通して、受験者の確保に努めていきたいと考えています。

続いて、「令和6年度大分県教育庁等職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験 実施要項」をご覧ください。

同様に、令和5年5月2日に大分県教育委員会のホームページで公表するとと

もに、報道発表と実施要項の配布を行っています。県内外の大学や関係機関に要項を送付し、受験者の確保に努めていきたいと考えています。

報告は以上です。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(鈴木委員)

パンフレットやSNSに載せる教員の顔写真は、マスクを外したものにして良いのではないですか。表情が分かる方が、印象が違ってくると思います。

(大和教育人事課長)

まだ授業中にマスクの着用が必要な時期に写真撮影をしています。今後はマスクを外した写真に変えていきたいと思っています。

(岡本教育長)

それでは、これで令和5年度第4回教育委員会会議を閉会します。

ありがとうございました。